

尼崎市自発的活動支援事業

～たのしくげんきに～
「ヨガ教室」



尼崎市難病団体連絡協議会

尼崎市難病団体連絡協議会とは

〔 設 立 〕 平成12年

〔 幹 事 〕 17名

〔 目 的 〕 難病患者やその家族が、お互いに励まし合い、助け合い、希望をもって生活ができるよう、医療と福祉の向上を目指して結成。

〔 事 業 〕

・ 相談会、電話相談 ・ 学習会 ・ 難病を理解してもらうための啓発活動 など

難病の定義

難病

- 発病の機構が明らかでなく
- 治療方法が確立していない
- 希少な疾病であって
- 長期の療養を必要とするもの

患者数等による限定は行わず、他の施策体系が樹立されていない疾病を幅広く対象とし、調査研究・患者支援を推進

例: 悪性腫瘍は、がん対策基本法において体系的な施策の対象となっている

指定難病

難病のうち、以下の要件の全てを満たすものを、患者の置かれている状況からみて良質かつ適切な医療の確保を図る必要性が高いものとして、厚生科学審議会の意見を聴いて厚生労働大臣が指定

- 患者数が本邦において一定の人数^(注)に達しないこと
- 客観的な診断基準(又はそれに準ずるもの)が確立していること

(注)人口の0.1%程度であることを厚生労働省令において規定。

医療費助成の対象

尼崎市難病連加盟所属団体(12団体)

- ・全国心臓病の子どもを守る会兵庫県支部
- ・兵庫県「腎炎・ネフローゼ児」を守る会
- ・肝炎友の会兵庫支部
- ・(社)日本リウマチ友の会兵庫支部
- ・稀少難病患者・家族の会「あじさいの会」
- ・NPO法人兵庫県腎友会
- ・全国膠原病友の会兵庫支部
- ・兵庫ヘモフィリア友の会
- ・全国パーキンソン病友の会兵庫県支部
- ・日本網膜色素変性症協会兵庫県支部
- ・兵庫県潰瘍性大腸炎・クローン病友の会
- ・近畿つぼみの会兵庫支部(小児糖尿病の会)

今回の目的

尼難連は資金不足で、事務所を借りることができず、尼崎市が取り組む住宅支援事業に応募して、市営口田中住宅に事務所を移転。

REHULによる自治活動支援事業で住民との交流等も条件にあり、ヨガ教室を実施。

講師としてヨガのプロである吉識 あゆ子氏をお招きし、ご近所付き合いと高齢者の方々の健康維持を狙いとして取り組んだ。

今後、住民の方々の防災の取り組みにもつなげていきたい。

自発事業（ヨガ教室）第1回

○日時 2023年11月19日 10:00-11:00

○会場 尼崎市口田中市営住宅集会室 参加者 13名

○講師 一般社団法人日本ヨガのめぐみ協会

吉織あゆ子氏



自発事業（ヨガ教室）第2回

○日時 2023年12月17日

10:00-11:00

○会場 尼崎市口田中市営住宅集会室

参加者 12名

自発事業（ヨガ教室）第3回

○日時 2024年1月21日

10:00-11:00

○会場 尼崎市口田中市営住宅集会室

参加者 11名

自発事業（ヨガ教室）第4回

○日時 2024年2月11日

10:00-11:00

○会場 尼崎市口田中市営住宅集会室

参加者 10名

自発事業（ヨガ教室）第5回

○日時 2024年3月17日

10:00-11:00

○会場 尼崎市口田中市営住宅集会室

参加者 10名



効果

□田中住宅にお住まいの方限定で実施した。参加者は少ないのではと懸念していたが、毎回、10名から12名が参加された。

住民の方々の引越しは7年後と聞いていたが、2年後に引越しを余儀なくされる中、高齢者の方々はとても楽しく参加されていた。

最後のヨガ教室では、「朝に運動することで身体がほぐれて、とても気分も良い」との感想を多くの方から頂いた。

今後に向けて

「ぜひ、次年度も開催して欲しい」との要望あり。当団体としては継続の意向が強く、引き続き実施していきたいと行政にも意思表示している。